



令和4年度

学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ~学ぶ喜びにあふれた学校をめざして~

令和4年9月28日

横浜市立高田小学校

10月号

新しい形へ

校長 赤坂 桂

いくつかの台風通過とともに、さわやかな秋風を感じる頃となりました。新型コロナウイルス感染もやや落ち着き、秋の行事が開催できるようになっています。

9月11・12日に5年生は西湖体験学習を実施することができました。樹海でのハイキング、湖で二人乗りカヌーなど西湖ならではの体験をしました。夜のキャンプファイヤーでは自分の背丈を越えるほど大きな炎の揺らめきや熱気を全身に感じながら、友達と楽しい時間を過ごすことができました。

10月22日には運動会を計画しています。2・3・5年と1・4・6年の2部制です。徒競走、演技、代表リレーに加え、団体競技も予定しています。さらに高学年の実行委員会も立ち上げました。応援団や係、競技運営など子供たちの主体的に取り組む姿が見られ、学校全体が盛り上がってきました。先日、1回目の話合いの様子を見に行ってみると、ある委員会では一人ずつ黒板の前に立って、なぜ、この委員会を選んだのか、どんな活動をしたいか、について熱く語っている様子が見られました。その真剣な表情と言葉に子供たちがどれだけ運動会を楽しみにしているのか伝わってきました。コロナ禍で制限された2年間を経てようやく内容を広げることができます。いまだ限られた条件の中ではありますが、今できる精一杯の活動をぜひ応援していただきたいと思います。

もう一つ、お伝えしたい活動があります。それは運動委員会が企画運営する「長なわ大会」です。1年生から6年生までクラスごとに3分間で何回跳べるか、に挑戦します。競うわけではなく、クラスで目標を決めてその達成を目指す取組です。

練習を始めた頃は引っかかってばかりで記録はせいぜい数十回でした。1年生は一人ずつタイミングを待ってしまうので、一人一回全員に順番が回らないことすらあります。それが日々、練習を重ねていくと自主的に練習する子も現れ、どんどん上達していきます。1年生でも連続で跳べるようになっていくのです。高学年になると、連続高速回転となり、200や300回を越えてくるクラスもあります。

誰が跳んでも一人1回。クラス全員がリズムを合わせて1回1回を積み重ねていく長なわは仲間との一体感を強くしていきます。新記録達成にあがる歓声は努力の賜物です。長なわ大会は冬にもう一度開催される予定です。自分たちの成長を実感できる一つの機会として盛り上がっています。